

科目名：看護学概論		必修	1単位(45時間)	
(Introduction to Nursing Science)				
履修年次/時期：1年次 前期		授業形態：講義		
主担当教員：棚橋 泰之				
主担当教員詳細：実務経験 看護師13年：実務経験より、看護の基盤となる基本的な概念が理解できるように授業を行う。				
担当教員名：				
学修目的	看護の起源や変遷から看護とは何かを歴史的に学びながら、現代における専門職としての看護の機能を知り、看護学が人々の健康や療養に果たす意義について理解する。人々の健康に関するニーズや様々な看護の機能を知ることにより、看護提供者としての自己の考えを示す。 導入科目として、看護基礎教育課程における学修動機を高め、専門科目の学習の基盤を築く。			
	関連するCP： CP1,CP2	科目No. KNI-126		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	◎	
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○	
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○	
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○	
		(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○	
		(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○	
	◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP			
	到達目標	①看護の歴史の変遷をふまえ、人間にとって「健康とは」を説明できる。 ②看護の対象となる人々の特性について説明できる。 ③看護理論とは何かを説明できる。 ④看護活動を展開するために必要な倫理について説明できる。 ⑤看護師の役割と責任について説明できる。 ⑥医療チームにおける看護職と多職種間の共同の在り方について説明できる。		
授業概要	看護の対象である人を、生活する人びと(生活者)としてとらえる視点を養う。看護職は生活者を支援する専門職であることの意義や、「人間」「健康」「環境」「看護」について学ぶ。			
評価方法	筆記試験50点、課題50点①読書感想文(10点)②看護理論家の考え方(10点)③私の考える看護(10点)④死生観レポート(10点)⑤私が目指す看護(10点) 評価に対するフィードバックは掲示にて行う。			
予習・復習時間	【予習】1.5時間 【復習】1.5時間			
教科書	系統看護学講座 基礎看護学① 看護学概論 医学書院 看護覚え書き：フローレンス・ナイチンゲール著、湯楨ますほか訳、現代社 看護の基本となるもの：ヴァージニア・ヘンダーソン著 湯楨ますほか訳、日本看護協会出版会 看護学生必携資料集：メヂカルフレンド社編集部、メヂカルフレンド社			
参考書	必要時、提示する。			
オフィス・連絡先	棚橋 泰之 3号館3階研究室 tanahashi@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします。			

実施回	第1回	実施日	時限	班
授業計画	科目ガイダンス ①この科目で何を学ぶのかわかる。 ②授業方法や評価方法がわかる。 看護への導入(1) ①看護とは何かを考えることができる。 ②自分の考える看護について表現できる。 ③看護の起源について理解できる。 ④近代看護の成立について理解できる。 課題1 課題図書2冊を読み、それぞれについての感想文を作成する。(10点) A4版、基本設定、1200字程度、明朝体、10.5P、表紙あり 提出期限 月 日 時	予習	看護学概論第1章A-①を読み看護とは何を考えて授業に臨む。	
		復習	講義内容を振り返り、ノートを整理する。課題図書を読み進める。	
		キーワード	看護、看護学、nursing、nursing science、宗教的看護、看護の暗黒時代、F. ナイチンゲール、V.ヘンダーソン	
授業形態	講義	担当	棚橋	

実施回	第2回	実施日	時限	班
授業計画	看護への導入(2) ①看護の定義が説明できる。 ②看護学におけるメタパラダイムが説明できる。 看護理論 ①看護理論とは何かかわかる。 ②看護理論の分類がわかる。 ③看護理論をなぜ学ぶのかわかる。 ④F.ナイチンゲールの考え方がわかる。 ⑤V.ヘンダーソンの考え方がわかる。 ⑥看護理論家についての課題に取り組むことができる。 課題2 ①看護理論家の考え方についてまとめる。(10点) 以下の看護理論家の考え方をメタパラダイムにそってまとめる。 書式は自由とする。 ウィーデンバック、ドロセア-オレム、S.C.ロイ、ペプロウ、オーラ	予習	看護学概論第1章A-②を読む。	
		復習	講義内容を振り返り、ノートを整理する。	
		キーワード	ジュネーブ条約、博愛社、佐野常民、ICN、WHO、ナイチンゲール、ゴールドマークレポート、ブラウンレポート、看護理論、中範囲理論、F.ナイチンゲール、看護覚え書、生命力、V.ヘンダーソン、ニード論	
授業形態	講義	担当	棚橋	

実施回	第3回	実施日	時限	班
授業計画	特別講演会「死生観について」 ①死を通して生といのちについて考えることができる。 ②人の命と看護の関連について考えることができる。 課題4講演を聞いての学び・気づき(10点) A4版、基本設定、1200字程度、明朝体、10.5P、表紙あり 提出期限 月 日 時	予習	自分の死生観について考え、講演にのぞむ。	
		復習	講演内容を振り返り、課題に取り組む。	
		キーワード	死、生、いのち、医療	
授業形態	講義	担当	高宮	

実施回	第4回	実施日	時限	班
授業計画	看護の役割と機能 ①ケアとは何かかわかる。 ②ケアとキューアの違いが説明できる。 ③ケアリングとは何かかわかる。 ④看護の質保証に欠かせない要件がわかる。	予習	看護学概論第1章Bを読む。	
		復習	講義内容を振り返り、ノートを整理する。課題に取り組む。	
		キーワード	ケア、キューア、ケアリング、安全性、安楽性、自立の促進	
授業形態	講義	担当	棚橋	

実施回	第5回	実施日	時限	班
授業計画	看護の対象としての人間の理解① ①ホメオスタシスとは何かかわかる。 ②ストレスとは何かかわかる。 ③コーピングとは何かかわかる。 ④マズローの欲求段階説がわかる。 ⑤障害受容プロセスがわかる。 ⑥アギュララとメズイックの危機モデルがわかる。 ⑦エリクソンとハヴィガーストの発達理論がわかる。	予習	A人間の「こころ」と「からだ」を読んで授業に参加する。	
		復習	講義内容を振り返り、ノートを整理する。課題に取り組む。	
		キーワード	キャン、ホメオスタシス、セリエ、ストレス、ラザルス、コーピング理論、マズローの欲求段階説、キューブラー-ロス、フィンク、コーン、アギュララとメズイック、エリクソン、ハヴィガースト	
授業形態	講義	担当	棚橋	

実施回	第6回	実施日	時限	班
-----	-----	-----	----	---

授業計画	健康とは何か ①WHOの健康の定義が説明できる。 ②健康レベルを説明できる。 ③障害とは何かがわかる。 ④国際生活機能分類を説明できる。 ⑤生活と疾病・障害の予防についての考え方がわかる。 ⑥ヘルスプロモーションとは何かがわかる。 ⑦健康状態を捉える指標が理解できる。 ⑧日本国民の健康の全体像が理解できる。 ⑨ライフサイクルとは何かを説明できる。	予習	看護学概論第3章を読んで授業に参加する。
		復習	講義内容の振り返り、ノートを整理する。
		キーワード	健康の定義、イルネス-ウェルネス連続体、国際障害分類、国際生活機能分類、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、健康日本21、有訴者率、通院者率、自覚症状、通院者の主な傷病、受療率、生活のしづらさなどに関する調査、特定医療費受給者証、平均寿命、合計特殊出生率、人口割合、死亡率、死因、世帯数、年齢階級別死因順位、少子高齢化、健康寿命、社会格差、QOL
授業形態	講義	担当	棚橋

実施回	第7回	実施日		時限		班	
授業計画	職業としての看護 ①職業としての看護がどのように起こったかがわかる。 ②日本の看護の歴史がわかる。 ③保健師助産師看護師法の概要がわかる。 看護における倫理 ①看護における倫理とは何かがわかる。 ②看護実践にとって重要な倫理原則がわかる。 ③倫理的ジレンマと倫理的問題がわかる。	予習	看護学概論第4章Aを読んでわからない言葉を調べて、授業に参加する。				
		復習	講義内容を振り返る。残った年表を作成する。				
		キーワード	保健師助産師看護師法、専門看護師、認定看護師、欠格事由、業務独占、名称独占、相対的医行為、守秘義務、倫理、モラル、職業倫理、倫理原則、インフォームドコンセント、倫理的ジレンマ、リビングウィル、リスボン宣言、看護者の倫理綱領				
授業形態	講義	担当	棚橋				

実施回	第8回	実施日		時限		班	
授業計画	看護提供のしくみ ①看護におけるサービスという考えを理解する。 ②看護サービスの提供の場がわかる。 ③チーム医療を担うさまざまな職種がわかる。 ④医療チームとその種類がわかる。 看護政策と経済 ①医療保険のしくみがわかる。 ②診療報酬制度と看護の人員配置のしくみがわかる。 ③診療報酬制度における看護サービスの評価がわかる。 ④看護師の確保対策がわかる。	予習	看護学概論第6章ABを読んで参加する。				
		復習	講義内容を振り返り、ノートにまとめる。				
		キーワード	医療提供施設、保健所、市町村保健センター、地域包括支援センター、チーム医療、医療チーム、診療報酬制度、人員配置基準、看護必要度、看護師等確保対策				
授業形態	講義	担当	棚橋				

実施回	第9回	実施日	2025/12/19	時限		班	
授業計画	医療安全と医療の質保証 ①医療事故の概要がわかる。 ②アクシデントとインシデントの違いが説明できる。 ③ヒューマンエラーとエラーの防止対策がわかる まとめ 課題③私の考える看護(10点) 課題⑤私の目指す看護(10点) A4版、基本設定、1200字程度、明朝体、10.5P、表紙あり 提出期限 月 日 時	予習	看護学概論第6章CDを通読				
		復習	講義内容を振り返り、ノートにまとめる。課題に取り組む。				
		キーワード	医療事故、ハインリッヒの法則、アクシデント、インシデント、ヒューマンエラー、看護業務の特性、インシデントレポート、看護観				
授業形態	講義	担当	棚橋				